

新型コロナによって“今日食べることに困る人をゼロにする”を目指して

●外国人住民向け食糧支援事業●

# フードドライブ・ フードパントリー 活動報告書



## も く じ

### はじめに

新型コロナによって“今日食べることに困る人をゼロにする”を目指す背景 .....	1
伊賀市社協における、これまでの生活相談と食糧支援の取り組み .....	1
三重県内および伊賀市内の外国人住民の状況 .....	1
コロナ禍における相談支援の現場から .....	2
コロナ禍における多文化共生推進の現場から .....	3
フードドライブ・フードパントリー試行実施の流れ .....	4
事前打ち合わせ・事業計画の作成・後援・協力依頼 .....	4
フードパントリー申込フォームの作成・募集チラシ作成 .....	5
ボランティア募集・食糧募集の呼びかけ・食材の発注・フードドライブの実施 .....	8
食材の保管・袋詰め作業 .....	9
フードパントリーの実施 .....	10
フードパントリーの設営・フードパントリー当日の役割分担 .....	11
アンケートの実施 .....	12
感謝報告の実施 .....	13
外国人住民向けフードパントリー 申込者の状況 .....	14
外国人向けフードパントリーアンケート結果 .....	15
今後に向けて .....	17
地元で起こっている生活課題を伝え、支援の輪を広げる .....	17
協働実践による“今日食べることに困る人をゼロにする”をめざして .....	17

### はじめに

新型コロナウイルス感染症の影響によって、伊賀市内でも仕事を失った、食べるものがない、住む場所がない、人と繋がりにくくなったなど、様々な生活課題が発生しています。そのなかでも昨今大きな社会課題となっているのが、非正規雇用など不安定な労働条件のもとで働いている外国人労働者です。新型コロナによる雇用情勢の悪化を受け、仕事が減ることで収入が減少したり、失業したりなど、かなり厳しい現実があります。

このたび、市民の安定した暮らしを支えるため、生活相談や新たな緊急支援活動の一環として、このたび中央共同募金会より「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援キャンペーン フードバンク活動助成」の助成を受け、新型コロナによって“今日食べることに困る人をゼロにする”を社会的インパクトとした、市民の食に関する生活課題の解決に向けた緊急食料提供事業の実施させていただきました。

事業実施にあたっては、既にフードパントリーに取り組んでいた多文化共生推進 NPO や子ども食堂のみなさんからノウハウを共有していただきながら、試行的に実施させていただきました。そして、その経験を通じて、今後さらに多様な主体が食を通じて支援を必要とする人や支援者との関係構築をしながら、“今日、食べることに困る人をゼロにする”ことを、みんなで実現していくことを願って、ここに事業展開のプロセスやその結果をご報告させていただきます。

最後になりましたが、本事業にご賛同いただきました皆様の多大なるご支援とご協力に、心から厚くお礼申し上げます。

令和 2 年 8 月

伊賀市社会福祉協議会 会長

福壽 勇



## 新型コロナによって“今日食べることに困る人をゼロにする”を目指す背景

### 伊賀市社協における、これまでの生活相談と食糧支援の取り組み

伊賀市社協では、これまでひとり親家庭や無業者、障がい者など、生活困窮者等を対象に、あと数日の食糧があれば収入等が得られるが、その数日がしのげない場合などに、安定した自立生活を送るための支援として、平成21年より共同募金社協配分金を財源とした「緊急食糧等提供事業」を創設し、食の支援を行ってきました。また、県内社会福祉法人での基金創設において、フードバンクを実施するNPO法人の協力を得ての生活困窮者支援緊急食糧提供事業が創設されて以降は、その事業で対応できない部分をカバーするものとして継続実施してきました。

しかし、新型コロナウイルスの発生以降、その影響に伴って「今日、食べるものがない」「明日から住むところがない」といった相談が日々寄せられています。3月下旬からの新型コロナ関連の相談件数は612件(8月末現在)、緊急食糧セット希望者は延べ487セット(8月末現在)となるなど、緊急食糧の需要が急激に高まり、既存の事業や財源では、支援が必要な方に食料を届けることが困難な状況が生じてまいりました。そのような状況で、当時はフードバンクでは対象世帯を限定的に絞らざるを得ないなど、必要な人に食糧が届かない状況がありました。また、緊急食料の需要が高まったために、当初一人あたり一週間分の緊急食糧セットを3,500円で購入していましたが、財源が確保できず、2,500円に減額せざるを得ない状況となってしまう状況がありました。

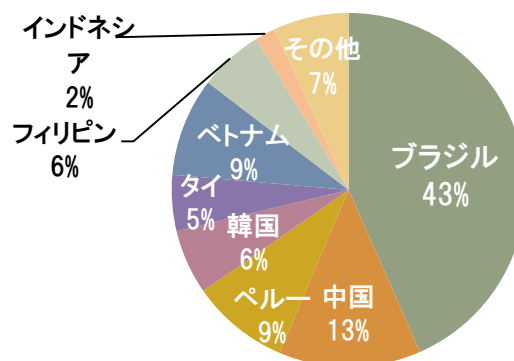


1週間分の緊急食糧のイメージ

### 三重県内および伊賀市内の外国人住民の状況

令和元年度末の「三重県 外国人住民数 県ダイバーシティ推進課調べ」によると、三重県内総人口に占める外国人住民の割合は、前年(2.77%)より0.27ポイント増加して3.04%となり、過去最高であった平成20年の2.78%を更新しました。令和元年12月10日、出入国在留管理庁発行の「令和元年版在留外国人統計」によると、三重県の全国的な順位は、平成30年末で第4位(2.91%)となっています。その中でも、伊賀市は外国人住民が総人口の6.26%を占めており、県内でも上位2位となっています。このように、外国人住民が多地域と比較して多い中で、外国人住民が非正規雇用など不安定な労働条件のもとで働いている方が多く、新型コロナによる不況の影響を受けて失業者が増えるなどの状況が浮き彫りになってきました。また、失業により、食べることに困窮したり、住まいを失ったりなど、外国人労働者やその家族や子どもたちにも影響が大きくなるなど、支援を届ける必要性が明確になってきたことから、外国人住民向けフードパントリーの試行実施に取り組むことになりました。

外国人登録者国籍別割合(伊賀市)



## 食支援を入口とした、 根本的な生活課題の解決をめざして

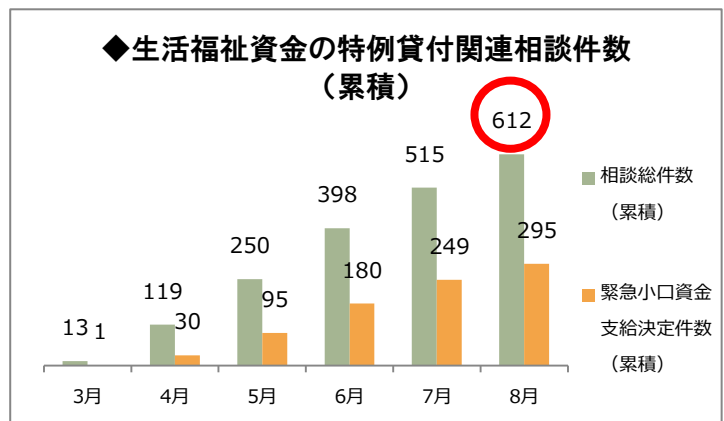
伊賀市社協 地域福祉部 就労支援課長 寺田浩和



### ■ 新型コロナの影響による相談支援の現状

令和2年3月から、新型コロナウイルスの影響による減収や失業など、生活にお困りの方の生活費として「生活福祉資金の特例貸付」を行なっています。相談は、感染予防対策の観点からも、現在1日8～10件の予約相談としています。

伊賀市内でも新型コロナの影響により減収し、生活の維持が困難となった方がたくさんおり、「仕事がなくなった」、「食べるものや住む場所がない」という相談も多くあります。当初は個人の自営業者からの相談が多かったですが、最近は派遣就労の外国人の方が多く相談に来られています。派遣会社は、これまでは寮付きの仕事が雇用者のセーフティネットとなっていました。派遣で職を失うと共に住居を失うといった状況も多く発生しています。



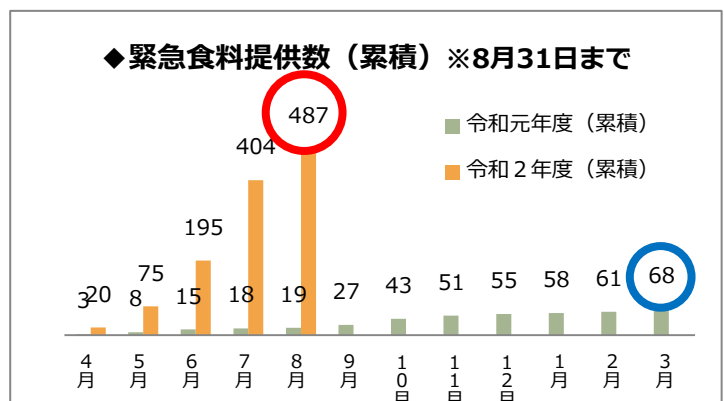
### ■ 「食支援は入口。」根本となる生活課題の解決に向けて一

コロナ禍における緊急食糧支援では、今年度2カ月弱で、昨年度1年分の実績を上回る申請がありました。相談者は目の前の生活費をなんとか工面したいと考えていますが、これまでも脆弱な基盤の上に生活を送っている方がたくさんいらっしゃいます。そのような方々の課題を見つけ出し、貸付や食糧支援を通して根本課題解決に向けての相談支援を行っています。

食糧支援が必要な方は複合的な生活課題を抱えている方が多く、食支援を入口として相談支援に結び付きやすくなることや、根本となる問題の解決に向けた相談支援に進むことができると考えています。



新型コロナウイルス対策専用相談窓口を設置。音声翻訳機も活用しながら、相談に応じる。



## 食支援を通じて、外国人住民が 情報や資源につながるようサポート

NPO 法人伊賀の伝丸 代表理事 和田 京子



### ■ コロナ禍での外国人住民の方の現状

この春、地域の外国人住民の間では、コロナ禍による「失業」や短縮勤務などの「大幅な収入減」の家庭が急増しました。そんな中でも母国への送金は自分達の生活費を切り詰めてでも続けなくてはならず、食べることに事欠く状態の家庭もありました。生活が苦しく、さらにこの状況がいつまで続くのか見通しが立たず、情報が交錯する外国人住民には、安心できる何らかの支援が必要だと考えました。そこで急ぎょ4月末、外国にルーツのあるひとり親家庭などにお菓子を配布する「Tsutamaru おやつサポート」を実施しました。配布時に現況を聞き、正しい情報提供とたちまちの食糧支援が必要であると実感しました。

### ■ 支援を必要とする方との繋がり

そんな中、社会福祉協議会さんと一緒に、フードパントリーを実施させて頂くことになりました。今回は小中高校や保育所・保育園や市役所など、多言語のチラシを用いて広く周知しました。やはり母語での情報伝達は早く、これまで情報が十分届かなかった市郊外の方や、少数言語の外国人住民の方とも繋がることができました。初めて取り入れた「Google フォーム」での申し込みには、若い技能実習生からもアクセスがありました。申し込み時や配布時には、「給料が減って家計が回らない」「子どもの宿題をみる事が出来ない」「ストレスを発散する場がない」など生活状況を聞く事が出来、今後私たちがやるべき事も見えてきました。そして「この食料で当面頑張れる。ありがとう！」という笑顔に癒された一日となりました。



### ■ 今後に向けて

配布後のアンケートでは感謝の声とともに、切実な現状も書かれており、今後も継続的な支援が必要だと強く感じました。今回の経験を踏まえて、コロナ禍でのフードパントリーの細かい手法や事務的なことを見直しつつ、社会福祉協議会さんとも連携させて頂き、当面は食料や生活用品の支援を継続、同時に就労支援や子どもたちへの学習支援を強化していきたいと考えています。

#### NPO 法人 伊賀の伝丸

1999年の設立から在住外国人の暮らしに寄り添い、地域のみなさんとともに言葉や文化の違いを力に変えて、地域づくりに取り組む(2005年NPO法人格取得)。翻訳活動や、外国人特有の相談ごとにも、解決に向けてネットワークで対応し、地域人材の活躍の場にもなるよう通訳のコーディネートを実施。2017年12月第1回「三重NPOグランプリ」で、もっとも共感を呼んだNPOとして最優秀団体に選出されるなど、伊賀の多文化共生の地域づくりに貢献している。

心とこころを伝えてまわる  
TsuMaMaru



## フードドライブ・フードパントリー 試行実施の流れ

### 事前打ち合わせ（キックオフミーティング）

- フードドライブ・フードパントリーの目的の共有
- 自己紹介・外国人住民のニーズ共有・意見交換
- 対象者の設定
- フードドライブの協力依頼先
- 嗜好・配慮事項の確認  
（アレルギー・ハラール・ベジタリアン対応など）
- 受付方法  
（予約の有無・締め切り設定・電話対応・アクセスしづらい方への対応）
- 周知方法（チラシ、多言語広報、行政・社協等窓口設置、直接連絡…）
- 広報啓発（プレスリリースの方法）
- 当日の流れ（誘導・受付・感染症対策・スタッフ役割分担確認など）
- その他、事前準備や事業実施後のふりかえり方法の確認 など



ミーティングの参加者／多文化共生推進  
NPO・行政(市民生活相談担当課・民生委員児童委員・子ども食堂ボランティア)・社会福祉協議会

### 事業計画の作成

- 打ち合わせ内容をふまえた、  
事業計画の作成および予算の確保

### 後援・協力依頼

- 関係機関等への依頼文書作成
- 後援・協力依頼内容および、事業  
の必要性等について資料説明

今回は、後援▶行政 協力先▶民生委員児童委員連合会、市内社会福祉法人連絡会組織、農協などに依頼しました。

	令和2年度 外国人住民向け食糧支援事業実施要領
【目的】	新型コロナウイルス感染症の影響によって失業したり、食べることに困窮したり、住まいを失うなど、外国人労働者やその家族や子どもたちにも影響が大きくなり、支援を届ける必要性が明確となってきた。そこで、「フードドライブ（家庭などで余っている食料を募り、食料を必要とする方々に寄付をする活動）」を呼び掛けるとともに、ご協力いただいた食品を、外国人住民向け「フードパントリー（食糧の無料配布）」を実施する。
【実施主体】	社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会、NPO 法人伊賀の伝丸
【協力団体】	伊賀市民生委員児童委員連合会、子ども食堂 わいわいがっこ
【後援】	伊賀市・伊賀市社会福祉法人連絡会（依頼中）
【事業詳細】	◆フードドライブ（市民参加の食品寄贈活動）実施 内容／家庭などで余っている食料を募り、食料を必要とする方々に提供をするための活動の実施 日時／2020年 8月6日（木）8：30～15：00 受付場所／伊賀市総合福祉会館 1階（伊賀市平野山之下 380 番地 5） ※事前予約 申込不要 当日会場 1階まで持ち込み。期日までに搬入も可。
	◆フードパントリー（食糧の無料配布）開設 内容／生活にお困りの外国人住民向け食材配布及び相談窓口の開設 （予約制、相談窓口 1時間×8枠 ※通訳あり） 日時／2020年8月9日（日）11：00～15：00 場所／伊賀市総合福祉会館 駐車場（伊賀市平野山之下 380 番地 5） 対象／伊賀市在住の外国人住民の方で、ひとり親世帯、失業および勤務日数や残業時間が減少して減収している方など 申し込み・問い合わせ先／ ※先着順の予約制（※切 8月5日までに氏名、連絡先を下記まで申し込み） 伊賀市社会福祉協議会(0595-21-1112)、NPO 法人伊賀の伝丸(0595-23-0912)
【広報啓発】	広報（市多言語版広報 IGA、社協広報）、SNS（伊賀の伝丸、社協 HP・Facebook）、報道機関への取材依頼等
【財源】	伊賀市社協 上野地域センター会費事業費 赤い羽根新型コロナウイルス感染症下の福祉活動応援全国キャンペーンフードバンク活動等応援助成（申請事業名「新型コロナウイルスによって今日食べることに困る人をゼロにする」プロジェクト）の活用

## フードパントリー申込フォーム作成

- 申込フォーム作成（7言語）  
Google フォーム



## ■フードパントリーエントリーフォーム内容

○年○月○日開催食料配布 申込フォーム(仮予約)  
お申し込み後、事務局にて内容を確認の上、配布番号  
をご連絡します。当日受付で番号をお知らせください。  
配布対象者:.....

- 氏名、電話番号、住所、メールアドレス、年齢、出身国
- 家族の人数
  - 大人(16歳～) 子ども(6歳～15歳、小中学生)
  - 子ども(0歳～6歳) ひとり親世帯である
- あなたにあてはまる項目にチェックをつけて下さい。
  - 失業している 勤務時間が減少して減収している
  - 食料に困っている その他
- 食料が買えない理由やその他困窮している状況などがあればご記入ください。
- アレルギーや宗教上食べられないものはあれば記入。
- 生活相談会への参加予約  
(予約する 予約しない)
- 相談を希望する人だけ教えてください。  
(通訳が必要 通訳は必要ではない)
- 可能であれば、相談内容を簡単に書いてください。

## 募集チラシ作成

- フードドライブ チラシ（3言語）  
やさしい日本語、英語、ポルトガル語

- フードパントリーチラシ（8言語）  
①やさしい日本語、②ポルトガル語、③スペイン語、  
④中国語、⑤英語、⑥タイ語、⑦ベトナム語、  
⑧インドネシア語  
チラシに申込フォームのQRコードを貼り付け

日本語



●外国人住民の方へ  
食料配布と  
相談会のお知らせ

要予約  
先着100名  
8月5日締切

新型コロナウイルスの影響で困っている方などを対象に、  
無料で食糧をお渡しします。  
また、生活相談会も同時に開催します。(通訳あり。要予約。先着8名)

日時/2020年 8月9日(日)  
11:00~15:00

場所/伊賀市総合福祉会館 駐車場

対象/伊賀市在住の外国人住民の方

- ひとり親世帯 ●失業した人
- 勤務時間が減少して減収している方  
など 食べることに困っている方



※暴風警報などが発令された場合、食糧配布会を中止します。

食糧や相談をご希望の方は、webまたは電話で予約してください。

- Web予約: QRコードからwebにアクセスして予約
- 電話予約・問い合わせ先: 平日 9:00-17:00
- ▶ NPO 伊賀の伝丸 ☎0595-23-0912 ☎080-3590-7612
- ▶ 伊賀市社会福祉協議会(上野) ☎0595-21-1112



多言語に対応

●主催/社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会 ●共催/NPO 法人 伊賀の伝丸

ポルトガル語



●Aos residentes estrangeiros  
Distribuição de alimentos e  
Consultas

Inscrições antecipadas  
100 primeiras pessoas  
Encerramento dia 5 de agosto

Para as pessoas que estão enfrentando dificuldades devido a pandemia do novo coronavírus, entregaremos os alimentos gratuitamente. No mesmo dia, estaremos recebendo consultas do cotidiano. (Haverá intérprete. Inscrições antecipadas. Somente as 8 primeiras pessoas)

Data: 9 de agosto de 2020 (Dom)  
11:00 - 15:00

Lugar: Estacionamento do  
IGA-SHI SOUGOU FUKUSHI KAIKAN

Quem pode receber a doação:

- Família monoparental ● Desempregado
- Pessoa que teve queda na renda devido redução de carga horária, etc.

Outros que seja estrangeiro residente na cidade de Iga, que esteja com dificuldade financeira para fazer compras.

※ Se for anunciado alerta de vendaval, a distribuição de alimentos será cancelada.



As pessoas que desejam receber os alimentos ou fazer uma consulta, devem se inscrever por internet (web) ou telefone.

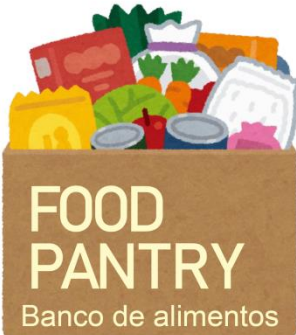
- Inscrição por Web: Entrar no site código QR e inscrever-se.
- Inscrição por telefone ou mais informações: Dia da semana das 9:00 às 17:00
- ▶ NPO Iga no Tsutamaru: TEL: 0595-23-0912 Celular: 080-3590-7612
- ▶ Iga-shi Shakai Fukushi Kyougai kai (Ueno): TEL: 0595-21-1112



Atendimento em vários idiomas

●Organização: Iga-shi Shakai Fukushi Kyougai kai ●Patrocinador: NPO Tsutamaru

スペイン語



●A los señores residentes extranjeros  
Información sobre el reparto de alimentos y  
consultas de la vida diaria

Se necesita reserva previa  
Para las primeras 100 personas  
Hacer la reserva hasta  
el 5 de agosto

Se repartirán alimentos gratis para las personas afectadas por la crisis del nuevo corona virus. Podrá también hacer consultas sobre la vida diaria. (Se ofrece el servicio de traductor. Se necesita reservar, sólo para las primeras 8 personas.)

Fecha: 9 de agosto de 2020 (domingo)  
11:00 - 15:00

Lugar: Estacionamiento del  
Iga-shi Sougou Fukushi Kaikan

Este servicio está dirigido a:

Los extranjeros que viven en la ciudad de Iga, las personas que tengan dificultad en la vida, por ejemplo,

- Familia monoparental ● Desempleados
- Personas que hayan visto reducido su salario por la reducción de horas de trabajo, entre otras situaciones de dificultad para comer.

※ En caso de que se anuncie la alerta de tormenta, se suspenderá el reparto de alimentos.

Se ruega a las personas que deseen tener apoyo alimentario o tener una consulta, que hagan una reserva previa mediante el sitio web o teléfono.

- Reservación por el sitio Web: Accedan al sitio web por el código QR.
- Reservación por teléfono: Diríjase, entre las 9:00 - 17:00 en los días laborables, a
- ▶ NPO Iga no Tsutamaru: TEL: 0595-23-0912 móvil: 080-3590-7612
- ▶ Iga-shi Shakai Fukushi Kyougai kai (Ueno): TEL: 0595-21-1112



Se proporciona apoyo multilingüe

●Organizado por Iga-shi Shakai Fukushi Kyougai kai ●Patrocinado conjuntamente por NPO Tsutamaru

中国語



●致各位外国人居民  
食品发放 以及  
咨询会的通知

需要预约  
100名为止  
8月5日截止

针对因新型冠状病毒的影响而感到生活困难的人士  
发放免费食品。  
另外,也同时举办生活咨询会。(配有翻译,需要预约,按预约顺序的先头8名)

时间/2020年 8月9日(星期日)  
11:00~15:00

地点/伊贺市综合福祉会館 停车场

对象/伊贺市在住の外国人居民中

- 单亲家庭 ●失业者
- 因上班时间减少而导致收入减少的人士  
等等 在食品物质上感到有困难的人士

※如果发布了暴风雨等警报的话,将会中止食品发放会。

希望领取食品或预约咨询的人士,请利用互联网或电话进行预约。

- 互联网预约: 扫描QR码进行预约
- 电话预约·问询处: 平日的9:00-17:00
- ▶ NPO 法人 伊贺之传丸 TEL 0595-23-0912 手机 080-3590-7612
- ▶ 伊贺市社会福祉协议会(上野) TEL 0595-21-1112



多语种対応

●主办/社会福祉法人 伊贺市社会福祉协议会 ●协办/NPO 法人 伊贺之传丸





英語

● To Non-Japanese Residents ●  
Notification of Food Pantry and Advice Session

Reservation required

First 100 people  
Apply before August 5

Food items will be distributed for free to people impacted financially by the coronavirus pandemic. An advice session will also be held. (Interpreting available. Reservation required. First 8 people.)

Date: August 9, 2020 (Sun.)  
11:00 to 15:00

Venue: Parking area of Iga City  
Sogo Fukushi Kaikan

Who is eligible:

Non-Japanese residents of Iga City who cannot afford food

- Single-parent families ● Those who are unemployed
- Those whose income has decreased because of reduced working hours, etc.

※ If a storm warning is issued, the food pantry will be cancelled.



To apply for the food or advice session, make a reservation online or by phone.

- Online: Scan the QR code and access our website.
- Phone: Enquiries: Weekdays 9:00 to 17:00



Available in multiple languages.

- ▶ NPO Iga no Tsutamaru TEL: 0595-23-0912 mobile: 080-3590-7612
- ▶ Iga City Shakai Fukushi Kyogikai (Ueno) TEL: 0595-21-1112

● Sponsored by Iga City Shakai Fukushi Kyogikai ● Co-sponsored by NPO Iga no Tsutamaru

タイ語



● ถึงผู้อาศัยชาวต่างชาติทุกท่าน ●  
ขอแจ้งให้ทราบเรื่องการประชุมหารือ  
กับการแจกจ่ายอาหาร

ต้องจอง

100 ท่านแรกเท่านั้น  
หมดเขต 5 สิงหาคม

สำหรับท่านที่ประสบความเดือนร้อนที่เป็นผลกระทบจากไวรัสโคโรนาสายพันธุ์ใหม่เป็นต้น  
จะแจกจ่ายอาหารให้กับท่านฟรี

อีกทั้งเปิดให้บริการหรือเรื่องการใช้ชีวิตในเวลาเดียวกันด้วย (มีล่าม, ต้องจองก่อน, 8 ท่านแรก)

วันเวลา / 9 สิงหาคม 2020 11:00-15:00

สถานที่ / ที่จอดรถของอิกะชิโซโกฟุกุชิไคกัน

กลุ่มเป้าหมาย / ผู้อาศัยชาวต่างชาติในเขตอิกะ

- พ่อแม่เลี้ยงเดี่ยว ● ท่านที่ตกงาน
- ท่านที่โดนลดจำนวนชม.การทำงานรายได้ลดลง  
เป็นต้น ท่านที่เดือนร้อนเรื่องอาหารการกิน

※กรณีมีประกาศเตือนเรื่องพายุ จะหยุดการแจกจ่ายอาหาร



ท่านที่มีความประสงค์จะรับอาหารหรือปรึกษา กรุณาจองผ่านweb หรือโทรศัพท์

- จองทางWeb : เข้าไปที่webผ่าน QRได้
- จองทางโทรศัพท์ : ติดต่อสอบถาม • วันธรรมดา9:00-17:00

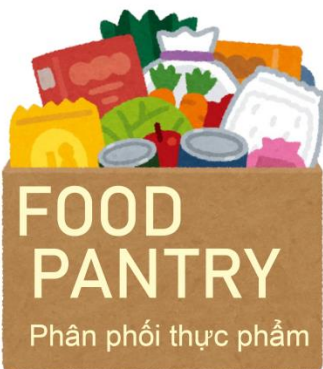


บริการตอบรับหลายภาษา

- ▶ NPOนิติบุคคล อิกะชิตะมารุ TEL 0595-23-0912 mobile 080-3590-7612
- ▶ สมาชิกริชิโซโกฟุกุชิ (อุเอะโนะ) TEL 0595-21-1112

● สпонเซอร์ / นิติบุคคลริชิโซโกฟุกุชิ สมาชิกริชิโซโกฟุกุชิ ● ร่วมสนับสนุน / NPO นิติบุคคลอิกะชิตะมารุ

ベトナム語



● dành cho người nước ngoài ●  
Thông báo về việc phân phối thực phẩm  
và tư vấn

Yêu cầu đặt hẹn

100 người đầu tiên  
Hạn cuối vào ngày 5 tháng 8

Cấp lương thực miễn phí cho người đang gặp  
khó khăn bởi ảnh hưởng của virus Corona chủng mới.  
Ngoài ra, chúng tôi sẽ tổ chức tư vấn các vấn đề trong cuộc sống trong cùng  
thời gian ấy. (Có phiên dịch. Yêu cầu đặt hẹn. 8 người đầu tiên)

Ngày giờ: Ngày 9 tháng 8 năm 2020 Chủ nhật  
11:00~15:00

Địa điểm: Ở bãi đỗ xe của  
Iga-shi Sougou Fukushi Kaikan

Đối tượng:

Dành cho người nước ngoài sống tại thành phố Iga

Người gặp khó khăn về đồ ăn do là

- Hộ gia đình đơn thân ● Người thất nghiệp
- Người bị giảm giờ làm nên giảm thu nhập v.v.

※ Nếu bị phát cảnh báo gió lớn thì sẽ ngừng phân phối lương thực.



Người có nhu cầu lương thực hoặc tư vấn hãy đặt hẹn bằng web hoặc điện thoại.

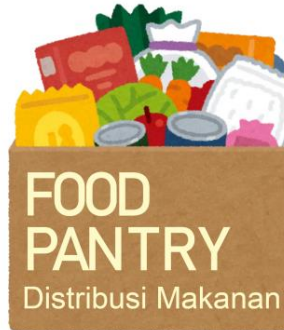
- Đặt hẹn Web: Từ code QR, truy cập vào web, rồi đặt hẹn
- Nơi đặt hẹn: liên hệ điện thoại: Ngày thường 9:00-17:00
- ▶ Tổ chức NPO-Iga no Tsutamaru  
TEL: 0595-23-0912 mobile: 080-3590-7612
- ▶ Hội đồng phúc lợi xã hội thành phố Iga (Ueno): TEL: 0595-21-1112



Hỗ trợ nhiều ngôn ngữ.

● Tài trợ / Tổ chức phúc lợi xã hội-Hội đồng phúc lợi xã hội thành phố Iga  
● Đồng tài trợ / Tổ chức NPO-Iga no Tsutamaru

インドネシア語



● Diturunkan kepada warga asing ●  
Pemberitahuan tentang distribusi  
makanan dan konsultasi

Pendaftaran dibatasi  
sampai 100 orang  
Batas waktu sampai  
5 Agustus

Pendistribusian makanan secara gratis ini diperuntukkan bagi orang yang mengalami  
kesulitan ekonomi karena terdampak virus corona. Selain itu, pada waktu yang sama  
akan diadakan juga konsultasi mengenai kehidupan. (Bagi yang memerlukan  
penterjemah harus mendaftar terlebih dahulu. Diutamakan 8 orang pendaftar pertama).

Waktu : 9 Agustus 2020 (Minggu)  
Jam 11:00-15:00

Tempat : Tempat Parkir Iga-shi Sougou Fukushi Kaikan

Penerima bantuan : Warga asing yang tinggal di Iga-shi  
yang tidak mampu membeli makanan, yaitu:

- Rumah tangga yang terdiri dari satu orang tua
- Pengangguran
- Orang yang penghasilannya berkurang karena jam kerjanya menurun dsb.

※ Apabila ada peringatan datangnya badai, pendistribusian makanan ini akan dihentikan.

Bagi orang yang ingin menerima bantuan makanan atau ingin berkonsultasi,  
tolong daftar terlebih dahulu melalui website atau telepon.

- Pendaftaran melalui Website : Masuk dan daftar melalui QR Code pada website.
- Pendaftaran melalui telepon, hubungi : Jam kerja 9:00-17:00



- ▶ NPO Tsutamaru TLP 0595-23-0912 HP 080-3590-7612
- ▶ Iga-shi Shakai Fukushi Kyogikai (Ueno) TLP 0595-21-1112

Tersedia dalam berbagai

● Penyelenggara / Iga-shi Shakai Fukushi Kyogikai ● Diselenggarakan bersama / NPO Tsutamaru

## ボランティア募集

袋詰め作業およびパントリーのボランティアの呼びかけ。

民生委員児童委員連合会に協力依頼し、袋詰め作業(2部制)に延べ25名、フードパントリー(3交代)に延べ40名が申し出いただきましたが、新型コロナの感染拡大に伴い、社協職員とボランティアのみで実施しました。

## 食糧募集の呼びかけ・食材の発注

食品関連企業や組織への寄付依頼  
農家への寄付依頼  
行政の防災備蓄品の寄付依頼  
地元業者への保存食品発注  
プレスリリースによる呼びかけ



企業等への依頼やご厚意による、卵、お菓子、バナナ、伊賀米、おかゆなどの食品寄付や、食材を発注した企業様からのご厚意による食品寄付など、たくさんのご支援を頂きました。

## フードドライブの実施（食糧受付）

社協本部および各地域センター窓口・地区市民センターの有志や行政等



社協各地域センターへの持ち込みのほか、地区市民センター等で呼びかけてくださるなど、多くの方々のご協力のもと、驚くほどたくさんの食糧をご寄付いただきました。



通常の緊急食糧提供では提供できない野菜等も、フードドライブからフードパントリー（配布）までの期間が短いことで、美味しい状態でお届けすることができます。

行政の災害用備蓄品で、賞味期限が迫っているものなどをご提供いただき、有効に活用させていただきました。



## 食材の保管

卵や野菜等の生鮮食品等は保冷庫にてパントリー当日まで保管



←玄米保冷庫は、赤い羽根フードバンク活動等応援助成金で購入させていただきました。

## 袋詰め作業



袋詰め作業には、フードパントリーを開催している子ども食堂のボランティアさんや、地元企業の方が社会貢献活動の一環としてご協力いただき、大変助かりました。



ハラールやアレルギーに配慮した食糧セットは、NPOスタッフが確認し、当日受け取った方にも再確認してもらいました。

■フードパントリーエントリーフォームで、申込時に食べられないものを確認しました。  
 ※宗派、国および地域、個人によって、食事制限の内容や程度が異なります。肉や魚を中心に、事前に食べられないものを把握しておき、可能な範囲で個別対応しました。

### 食への配慮の希望例

- ハラール対応食希望▶アフガニスタン（イスラム教）
- アレルギー対応（魚介類、ピーナツ、牛乳、卵を除いた食品を提供希望）▶ブラジル・ベトナム各1家族



## 箱詰め（1人分）の目安

※写真はイメージ

- ・米 1～2人＝1袋／3～4人＝2袋
- ・卵×1パック ・袋、カップ麺×3
- ・缶詰×3
- ・レトルト食品×4（家族はルーも可）
- ・カンパン×1 ・水×1
- ・サラダ油、ドレッシング、バナナ1家族×1
- ・野菜類、お菓子、嗜好品



## フードパントリーの実施（相談窓口同時開設）



スタッフミーティングにおいて、役割分担の確認。当日、伊賀では最高気温 35.6 度を観測する中、熱中症と新型コロナ感染予防対策を行っての活動となりました。



写真撮影による取材や Web 掲載の可否も事前確認し、応じていただくことができました。



寄付などで集められた食糧を受け取られ、大変喜ばれました。アクセス事情等で直接会場に來られない5組には、NPO スタッフが訪問して届けてくださいました。また、同時に生活相談窓口（通訳あり・事前予約制）を開設し、生活の困りごとに必要な情報をお届けできるようにしました。

2020.8.11 付 毎日新聞 伊賀版

**伊賀** 新型コロナウイルスの影響で生活に困っている外国人住民を支援する「フードパントリー（食料の無料配布）」が9日、伊賀市平野山之下の市総合福祉会館駐車場であった。大勢の外国人家族が訪れ、卵や米、野菜、カップ麺などの食料品を持ち帰った。

伊賀市社会福祉協議会とNPO法人「伊賀の伝丸」（伊賀市上野東町）が共催し、緊急支援活動として家庭などで余っている

### 外国人家族を食料品で支援

社協、NPOなどが配布

食料品を募り、伊賀市内の企業や商店、農家からも食材を提供してもらった。

この日はブラジル、ベトナム、ペルー、中国など69組の家族から事前申し込みがあり、車や自転車で訪れた外国人たちは段ボール箱に入った食料品を次々と受け取った。

ブラジルから10カ月前に日本を訪れ、伊賀市内の親戚を頼って暮らしているという男性（60）は「今は仕事もなく大変ですが、食料品をいただけるとあって大変感謝しています」と喜んでいました。【行方一男】



受け取った食料品を車に積み込む伊賀市在住の外国人家族ら。伊賀市で

2020.8.12 付 中日新聞 伊賀版

(第3種郵便物認可)

受け取った食料品を車に積み込む外国人住民ら＝伊賀市平野山之下で

**外国人住民に食料支援**

伊賀市社協 菜食やハラルも対応

新型コロナウイルスの影響で生活に困窮する外国人 無償で配布のフードパントリー

「コロナと闘う」

ーが9日、伊賀市平野山之下の市総合福祉会館駐車場であった。五、六月に外国人からの相談が増加したことを受けて、市社会福祉協議会が初めて開いた。

米や野菜、菓子など、地域住民や企業からの寄付で集まった善意の食料百七十四食を配布。多様な食文化に対応できるように、ベジタリアン向けの野菜中心の食品や、イスラム教徒向けのハラル食品などを分類して準備した。

訪れたカナシロ・トヤマ・ルイス・アルベルトさん（全名）は「すくく助けになっている。コロナで仕事が減っている今のタイミングがちょうどありがたい」と話した。（新居真由香）



## フードパントリーの設営

■申込状況（予約制）  
食料提供▶60組 170人位  
相談予約▶8組

### 食糧受け渡しの流れ

- ①誘導係が駐車場所へ誘導→駐車
  - ②聞き取り係が氏名・整理番号または国籍・名前・住所で確認し、トランシパーで物品係に伝える
  - ③物品係が食品を受渡係に渡す
  - ④受渡係が食品を渡す
- ※予約なしの方が来場した場合、当日用の食品を渡す



## フードパントリー当日の役割分担

時間	スケジュール
9:00~9:15	スタッフ集合、説明
9:15~9:45	会場設営
11:00~	フードパントリー開始
11:30~	交代で昼食
15:00	終了、片付け(~17:00)



担当	名前 ◎=リーダー	資材	その他、役割
誘導	◎生間、一見、前田、小林、山本(伝丸 10~12時)、田邊	誘導棒	4人体制 1人ずつ交代
聞き取り	◎篠田、丹下(伝丸)、上田(ボランティア)、古川(市役所)	受付簿、トランシパー	名前、整理番号、車の番号の確認。順番の声かけ
受け渡し	◎奥田、恒岡、中澤、福井	受付簿、台車	食品の受け渡し
受付	◎和田(伝丸)、野村(伝丸)、吉田	受付簿、トランシパー	物品・名簿の管理 1台ずつ順番に呼ぶ
倉庫、物品補充	中西、内田	受付簿、台車	物品の補充
相談誘導・受付	福永	相談受付簿、体温計	名前の確認、検温、誘導
相談	市川		
相談通訳	白石(伝丸)、他数名、オンラインでの通訳者		
写真	里中	カメラ	
報道対応	田邊、福永	報道用説明資料	


## アンケートの実施

### ●Webによるアンケート回答フォーム作成（7言語）


食糧受け渡し時に、QRコードをつけたアンケート用紙を配布し、Webの専用フォームで回答を依頼。

フードパントリー アンケートのお願い


日本語



今回のフードパントリー(食料配布会)は、どうでしたか？  
これからも市民のみなさまの困りごとを解決するために、相談会や食料配布を検討しています。  
今後の活動の参考にしますので、ぜひ、みなさんのご意見・ご感想をきかせてください。  
下のアドレス、または  
QRコードからwebにアクセスして、  
アンケートに答えてください。  
ご協力よろしくおねがいします。



<https://foodpantry20200809.jimdofree.com/q/>  
多言語対応しています。



## FOOD PANTRY

食料配布会

Questionnaire  
アンケート

---

### 食料配布会アンケート

今回のフードパントリー（食料配布会）は、どうでしたか？

これからも市民のみなさまの困りごとを解決するために、相談会や食料配布を検討しています。今後の活動の参考にさせていただきますので、こちらのアンケートにご記入のうえ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

\*必須

配布食料の内容に満足できましたか？\*

	とても良い (十分)	まあまあ良い	普通	あまりよくない	悪い(少ない)
1) 量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 内容(品目)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

今回の配布で良かった食料はなんですか？\*


- 米
- スナック
- カップ麺
- ツナ缶
- たまご
- その他 \_\_\_\_\_

この質問は必須です


## ■アンケート用紙（A4表裏）

フードパントリー アンケートのお願い

日本語



今回のフードパントリー(食料配布会)は、どうでしたか？  
これからも市民のみなさまの困りごとを解決するために、相談会や食料配布を検討しています。  
今後の活動の参考にしますので、ぜひ、みなさんのご意見・ご感想をきかせてください。  
下のアドレス、または  
QRコードからwebにアクセスして、  
アンケートに答えてください。  
ご協力よろしくおねがいします。



<https://foodpantry20200809.jimdofree.com/q/>  
多言語対応しています。

フードパントリー アンケートのお願い

英語

How did you like Food Pantry (Food Distribution Event) this time?  
We are thinking about having another advice session and food pantry in order help solve your problems. Your comments and impressions are most welcome and appreciated. We'd like to use that as reference in our activities from now on. Please access our website by entering the address below or scanning the QR code, and answer the questionnaire. Thank you for your cooperation.




<https://foodpantry20200809.jimdofree.com/q/>  
Available in multiple languages.

フードパントリー アンケートのお願い

中国語

您觉得这次的食品发放会如何？作为今后活动的参考，请您填写这份问卷，并告知您的建议・感想。请登录以下网址，或者扫描QR二维码，回答问卷。谢谢配合。




<https://foodpantry20200809.jimdofree.com/q/>  
多语种对应。

フードパントリー アンケートのお願い

スペイン語

¿Qué le pareció este banco de alimentos?  
Continuaremos considerando el asesoramiento y la distribución de alimentos para resolver los problemas de los ciudadanos. Complete este cuestionario y háganos saber sus opiniones e impresiones, ya que se utilizarán como referencia para futuras actividades. Ingrese a la dirección web de abajo o através del QR code y responda la encuesta por favor. Gracias por su cooperación.




<https://foodpantry20200809.jimdofree.com/q/>  
Se proporciona apoyo multilingüe.

フードパントリー アンケートのお願い

ベトナム語

Bạn thấy food pantry (buổi phân phối thực phẩm) lần này như thế nào?  
Chúng tôi sẽ tiếp tục xem xét tư vấn hoặc phân phối thực phẩm nhằm giải quyết khó khăn cho người dân trong thành phố. Để có thể tham khảo cho hoạt động sau này, mong các bạn đóng góp ý kiến・cảm tưởng.  
Hãy dùng địa chỉ hoặc mã số QR bên dưới để truy cập trang web rồi trả lời bảng câu hỏi. Vui lòng ủng hộ chúng tôi.




<https://foodpantry20200809.jimdofree.com/q/>  
Hỗ trợ nhiều ngôn ngữ.

フードパントリー アンケートのお願い

ポルトガル語

Como foi a Distribuição de alimentos?  
Continuaremos a considerar a realização de consultas do cotidiano e distribuição de alimentos para resolver os problemas dos cidadãos. Informe-nos suas opiniões e impressões, para ser usadas como referência para atividades futuras. Acessar o endereço abaixo do site, ou entrar no site pelo código QR, e responda os questionários, por favor. Agradecemos a sua cooperação.




<https://foodpantry20200809.jimdofree.com/q/>  
Atendimento em vários idiomas.

フードパントリー アンケートのお願い

タイ語

푸드뱅크(การแจกจ่ายอาหาร)ในครั้งนี้เป็นอย่างไรบ้าง  
กำลังพิจารณาเรื่องการให้คำปรึกษาและการแจกจ่ายอาหารเพื่อเป็นการแก้ไขปัญหาของทุกท่านที่เดือดร้อนเรื่องอาหารการกิน  
เนื่องจากจะใช้เป็นข้อมูลอ้างอิงสำหรับการจัดกิจกรรมครั้งต่อไป  
นอกจากการบอก  
แบบสอบถามแล้ว กรุณาแสดงความคิดเห็น, ความรู้สึกที่ได้เข้าร่วมกิจกรรมครั้งนี้  
กรุณาเข้าไปที่เว็บไซต์ข้างล่าง หรือเข้าผ่าน QR  
โค้ดเพื่อตอบแบบสอบถาม  
ขอขอบคุณที่ให้ความร่วมมือ



<https://foodpantry20200809.jimdofree.com/q/>  
บริการตอบรับหลายภาษา

●主催/社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会 TEL.0595-21-1112  
●共催/NPO 法人 伊賀の伝丸 TEL.0595-23-0912

## 感謝報告の実施

ご寄付いただいた企業や団体・市民のみなさんに、御礼状と報告書を送付

～新型コロナウイルス対策緊急支援活動 ●外国人住民向け食糧支援●

# フードドライブ・フードパントリー へのご協力をありがとうございました。



食への支援



食べることに困っている方に  
緊急食糧の提供

フードドライブ  
協力者数

91名10団体

フードパントリー  
食糧提供数

61組171人分

地域のみなさまから家庭で眠っている食糧を募り、新型コロナの影響で生活にお困りの外国人住民の方を対象に、無償で食糧品を提供する食糧支援を行いました。

フードドライブ（8月6日）では、91名10団体のみなさまから野菜やお米、保存できる食糧をご寄付いただき、社協や行政、各地区市民センターなどへお気持ちのこもった品々をたくさんお届けいただきました。寄付で集まった食糧と購入品、企業から寄付されたものを箱詰めし、フードパントリー（8月9日）で61組171人分を提供しました。

今回は、日頃から外国人支援をされている「NPO法人 伊賀の伝丸」様のご協力で、多様な食文化に対応できるよう、ベジタリアン向けの野菜中心の食品や、イスラム教徒向けのハラール食品なども分類して準備し、通訳付きの相談にも対応しました。受け取った方々は、喜びの声や感謝の言葉を口にされておりました。ご協力いただいたみなさま、誠にありがとうございました。



市民センターを拠点にフードドライブにご協力いただいた地域もありました



野菜やお米や保存食など、様々な食材を個人や企業からご寄付いただきました



食材の袋詰め作業。ボランティアの方にもご協力いただきました



フードパントリーでの食糧の受け渡しの様子

「毎日の食糧の大きな助けになった。」「今月の出費を大きく支援してもらいました。」などの感想が届いています。



フードパントリーに  
きょうりょくいただいたみなさま  
Special Thanks

JAIがふるさと  
有限会社 伊勢農場

4-ギル 梨葉株式会社  
株式会社 森永食品クック

TANAKA  
伊賀越

フードバンク  
活動等応援助成

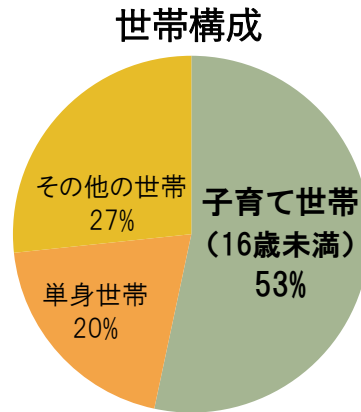
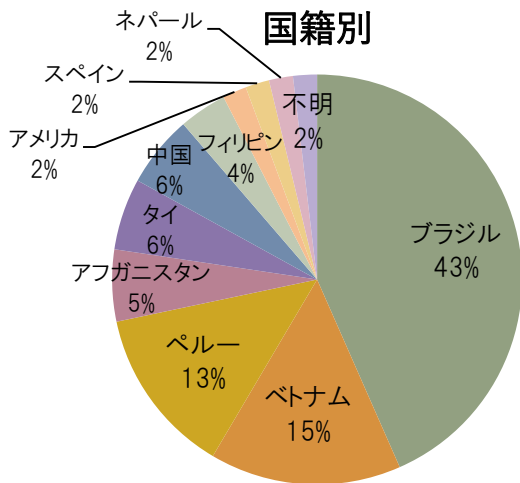
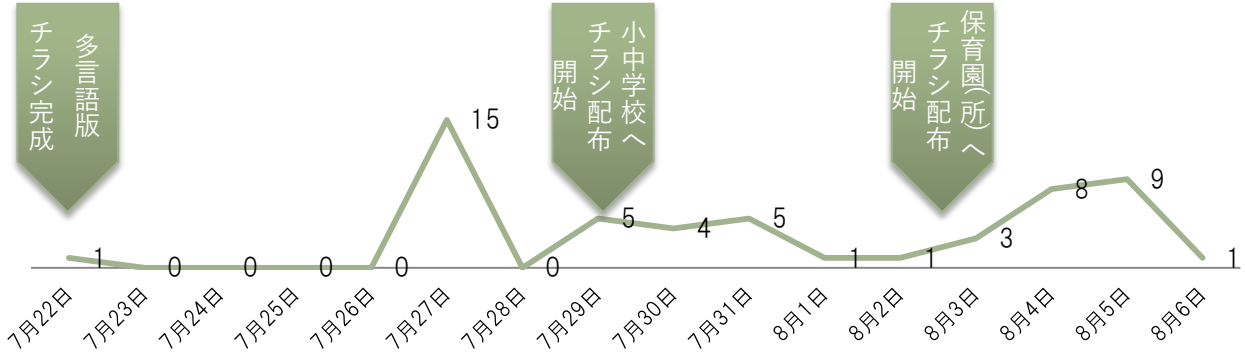
伊賀市・近隣住民のみなさま

●主催 / 社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会 ●共催 / NPO法人 伊賀の伝丸  
●協力 / 伊賀市民生委員児童委員連合会・子育て応援わいわいがっこ・JAいがふるさと  
●後援 / 伊賀市・伊賀市社会福祉法人連絡会

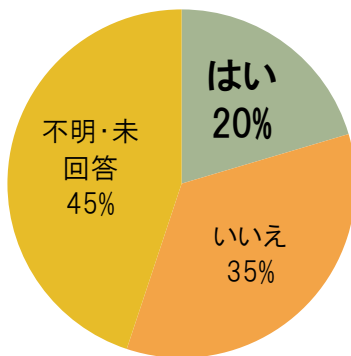
# 外国人住民向けフードパントリー 申込者の状況

申込世帯数 ▶53 組 160 人

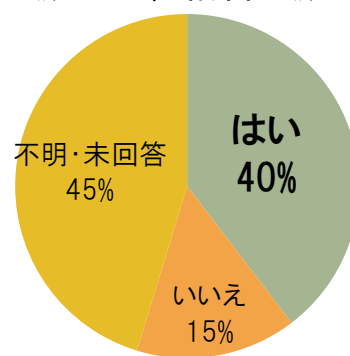
## 申込受付状況の推移



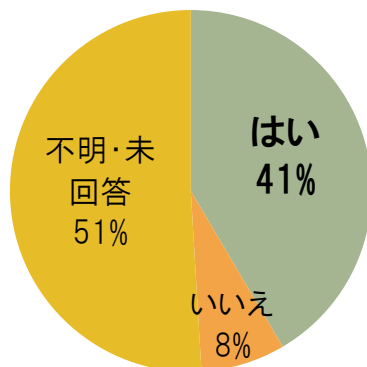
### 失業をしていますか



### 勤務時間が減って、給料が減っていますか



### 食べることに困っていますか





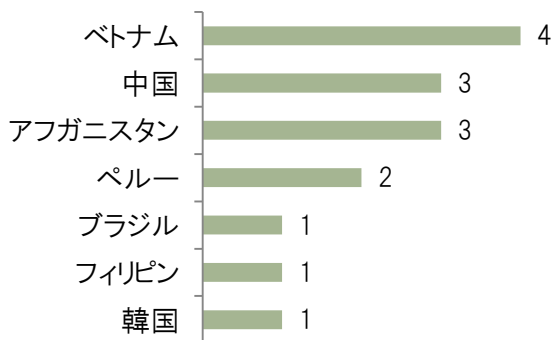
## 外国人向けフードパントリー アンケート結果

アンケート対象世帯 ▶ **61** 家族 アンケート回答者 ▶ **15** 人 (回答率 25%)

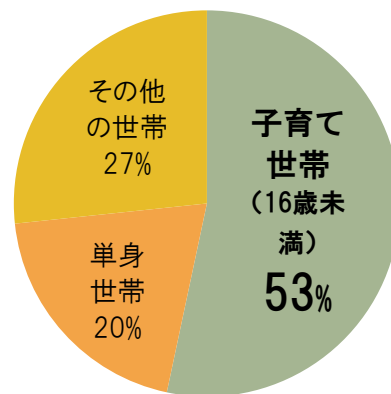
回答言語 ▶ 日本語 4, ベトナム語 4, 中国語 3, スペイン語 2, 英語 1, ポルトガル語 1

Q. コロナ禍で、あなたやあなたの家族の生活にどのような変化があったか

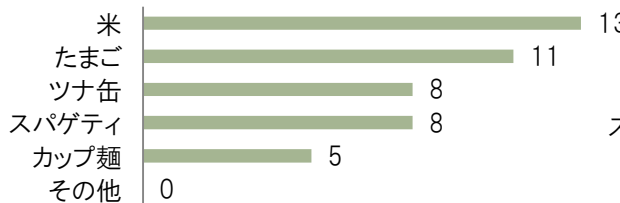
国籍別回答数



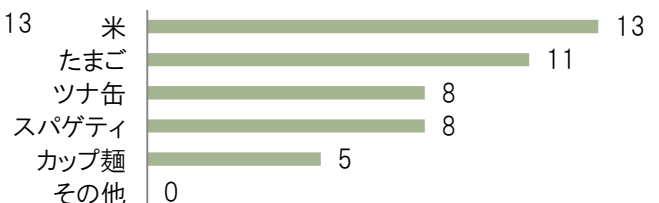
世帯構成



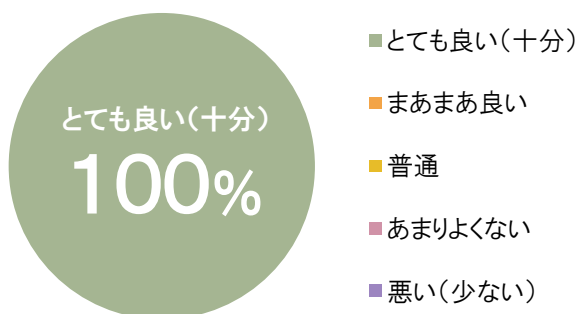
今回の配布で良かった食料



今後ほしい食料



配布食料の内容の満足度



配布食料の量の満足度



## Q. コロナ禍で、あなたやあなたの家族の生活にどのような変化があったか

※申し込み時点での記述含む

### ひとり親世帯（小・中学生）

- 給与が大幅に下がり、何もない。
- 失業中である。
- 私の子どもたちは塾（個別クラス）で勉強していたが、お金を払えなくなり、辞めなければならなくなった。また、友だちや家族にも影響があった。
- 給与が減りました。そのことが支出にも少し影響しています。給料は減るけど出費は通常通り続くからです。

### 子育て親世帯（未就学児を含む）

- 紙オムツも不足している。
- 5人家族であるが夫のみが働いている。
- 生活に困っている。
- 先月は仕事が休みであった。生活が苦しい。
- 妻が出産のため、仕事がない。失業中。
- 仕事が減ったため収入が減り、生活が苦しい。
- 夫が失業中、妻のアルバイトの収入で生活している。
- 収入の減少と費用の増加。
- 不安定。
- 収入が減ったので、今後の生活が心配になった。外出できなくなり、子供のストレスが増えた。私自身のストレス、負担、心配事も増えた。

- 物価が上がっていて、マスクも非常に高価です。外出するのも不便だし、賃金も減っています。子どもたちが学校に通うことも心配です。
- 仕事も収入も減りました。家族は衛生面にさらに注意を払っています。

### 子育て親世帯（小・中学生）

- 夫の仕事はあるが、妻は週2のみである。
- 厳しいですね。
- 低収入。

### その他の世帯

- 仕事が減っている。
- 仕事が減って生活が大変。
- 5月に手術をし、お腹に大きな傷あり。妻は残業がなく定時。月123000円のみ。
- 不安定。
- 私たちは非社会的な危機に直面しています。出かけることもできない…。
- 外出するのは不便ですし、食べ物のストックもありません。物価も上昇しています。
- コロナになってから、十分な生活ができなくて困っています。
- 日常生活は問題ありません。
- 寂しいのと、生活費が十分ではありません。
- 困っています。

## Q. 今回の食料配布会について感想や意見

### ひとり親世帯（小・中学生）

- たくさんの食料におどろきました。とても感謝しています。支援してくれたすべての人々に神の祝福を
- 今月の出費を大きく支援してもらいました。

### 子育て親世帯（未就学児を含む）

- ありがとうございます。
- ちゃんと、家族の人数分配布してもらえたことがすごく嬉しかったです。バナナやお菓子、ジュースもあり子供たちもよろこんでいました。ありがとうございます。
- たくさんの食糧援助を受けることができ、とても幸せです。家族全員で喜んでます。日本の社会福祉に感謝します。

- とてもいい。定期的に配布された方がいいです。

### 子育て親世帯（小・中学生）

- 助かりました。
- 毎日の食糧の大きな助けになった。

### その他の世帯

- しばらくの間の私たちの食糧を解決してくれたこのイベントに感謝し、また、日本の人々の支援に感謝します。
- 意味がある。 ● ありがとうございます。
- 内容と熱意。 ● とても感謝しています。
- どうもありがとう！
- 支援ありがとうございます。

## 今後に向けて

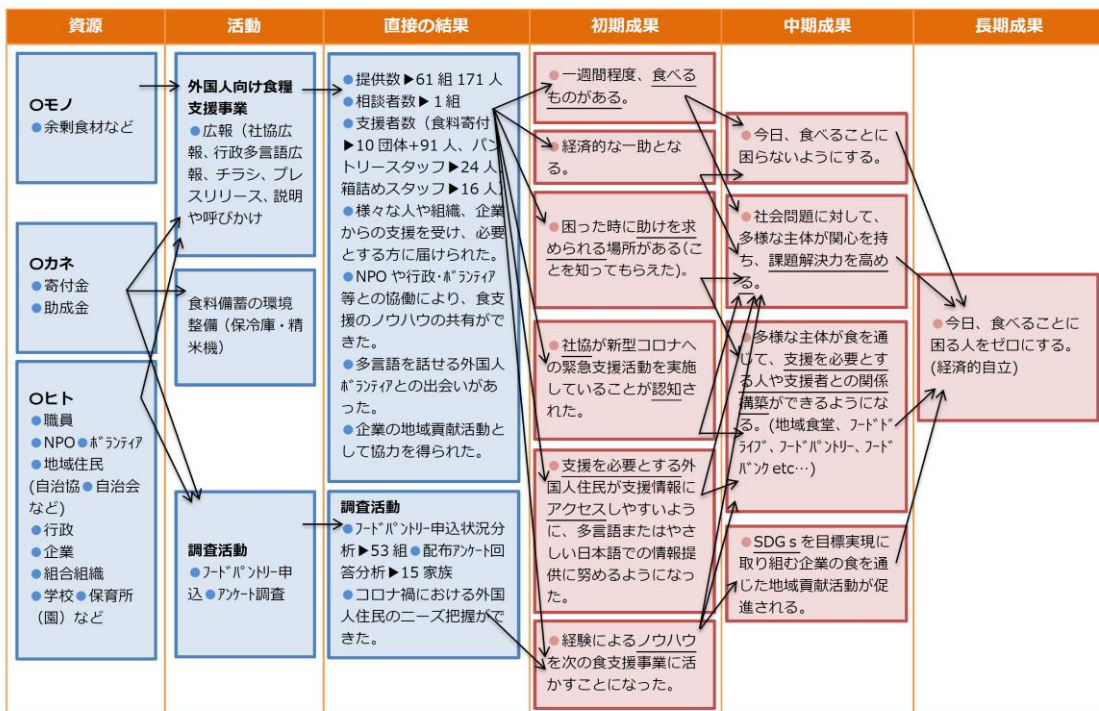
### 地元で起こっている生活課題を伝え、支援の輪を広げる

新型コロナウイルスが身近な生活にも影響を及ぼす中、「身近な地域でも食べることに困っている人がたくさんいる」という現状を伝えることにより、事業に共感してくださるたくさんの方々に出会うことができました。また、地域内で食糧受付の窓口を設置してくださるなど、たすけ合いの輪が広がったことも大きな力となりました。また、今回初めて地元の食品関係の企業や組織にも現状をお伝えし、多くの企業から食糧寄付をいただいたり、企業の社会貢献活動の一環として箱詰め作業に協力いただいたりなど、新たな繋がりができたことは大きな成果といえます。企業のなかにはSDGsの目標達成を目指したり、社協にどのような社会貢献活動が求められているか問われたりするなど、今後地域ニーズと企業の社会貢献活動とのコーディネートにより、地域課題解決に結び付けることが期待されています。

### 協働実践により、“今日食べることに困る人をゼロにする”をめざして

事業の周知や受付などは、多文化共生 NPO や行政などの協働により、多言語の広報誌掲載やチラシ・申込フォームなど、情報にアクセスしやすい工夫が可能となりました。また、食糧配布直前に NPO スタッフから希望者への電話確認による申し込み忘れの防止や、電話で相談につながるなどのケースもありました。また、NPO スタッフの協力により、アレルギーやハラル対応への配慮や、食支援を通じて国や信条によって食文化や慣習が異なることなどを知るきっかけともなりました。また、申込やアンケートなどを通して、外国人住民が直面している生活課題を把握し、今後の対策を検討する貴重なデータとなりました。

まだまだ不況が予測される中、この苦境をみんなでたすけ合いながら乗り越えることができるよう、「今日、食べることに困る人をゼロにする」を多様な主体の協働により実現を目指していくこと、また多様な国籍や言語、文化を持つ人々とのつながりや絆づくりをしながら、多文化共生のコミュニティづくりに向けて取り組んでまいります。



●今日、食べることに困ることをゼロにするプロセスのイメージ図 (作成中)

～フードパントリーで食糧を受け取られた方からのメッセージより～

たくさんの食料におどろきました。  
とても感謝しています。  
支援してくれたすべての人々に神の祝福を。

たくさんの食糧援助を受けることができ、とても幸せです。  
家族全員で喜んでいきます。  
日本の社会福祉に感謝します。



食料のご寄付いただいた団体 ▶10 団体+91 人

パントリーのスタッフ数 ▶24 人

食材の箱詰めスタッフ ▶16 人

お届けした食数 ▶61 家族 171 食



この報告書は、「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援キャンペーン フードバンク活動助成」の助成により作成しました。

令和2年8月発行

編集・発行

 社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会

〒518-0829 三重県伊賀市平野山之下 380 番地 5 ☎0595-21-5866